

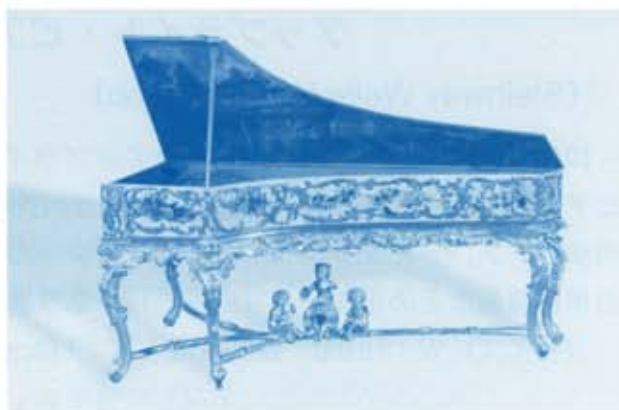
館 報

新収蔵資料の紹介

主な楽器資料として、2005年に次の鍵盤楽器4台が入庫した。

■ピサ・チェンバロ (Pisa Cembalo)

1580年から1600年頃にイタリアのピサまたはフィレンツェで製作されたと推定される。製作者は不確定であるが、ヨアヒム・マッシジエンノ (Joachim Massigiengo) の署名がある。音域は3オクターブ半。共鳴箱と脚部は後世に作られた可能性が高い。共鳴箱の内側には、城館が建つ川のほとりで男女たちが楽人の演奏にあわせてダンスに興じている光景が、外側と側面には、西洋風の花鳥図が描かれている。また金色に塗られた脚部には、楽器を演奏する3人の子どもが彫刻されている。



ピサ・チェンバロ

(サイズ) W : 81.5cm D : 199cm H : 87.5cm

■ボローニャ・チェンバロ (Bologna Cembalo)

1680年、イタリアのボローニャで製作されたと推定される。製作者は不詳。音域は4オクターブ+1ノート(短いオクターブ)。共鳴箱の内側にはヴェネチア派の画法による絵が後からヴェニスあるいはウィーン近郊で描かれ、外側と側板には楽器や田園風景の彫刻が施され、その上から赤漆が塗られている。また脚台にはロココ調の金色の花のモチーフが彫刻された帯飾りが施されている。



ボローニャ・チェンバロ

(サイズ) W : 85.5cm D : 198cm
H : 91cm

MIN-ON
MUSIC
MUSEUM



■エラール・グランド・

フォルテピアノ

(Erard Grand Fortepiano)

1899年、フランス・エラール社製。外装はホワイト・クリーム色で、側板や脚に彫刻が施され、鮮やかな金や銀のメッキがなされている。全体的にヴェルサイユ宮殿を建てたルイ14世時代の装飾スタイルとなっている。別名「ピアノの貴婦人」とも称されて

エラール・グランド・フォルテピアノ いる。

(サイズ) W:147cm D:252.5cm H:198.5cm

■スタインウェイ・ウェルテ・

アップライト・ピアノ

(Steinway Welte Upright Piano)

1912年製のスタインウェイ社のアップライト・ピアノにウェルテ社の再演装置が内蔵された自動再演ピアノ。ドビュッシーやマックス・レーガーの自作自演曲などの紙ロール(記録紙)もあります。

(サイズ) W:164cm D:77cm H:143cm



スタインウェイ・ウェルテ・アップライト・ピアノ

事業報告

2005年(平成17年)度は次の事業を展開した。

■音楽資料の収集

音楽図書資料(和書・洋書)421冊、逐次刊行物60タイトル、楽譜資料(管弦楽・吹奏楽用印刷譜、作曲家個人全集等)50点、録音資料(CD、DVD等)180点の資料を収集。

■古典ピアノ、オルゴール、民族楽器等の収集および常設展示

主な新着楽器として、「ピサ・チェンバロ」、「ポローニャ・チェンバロ」、「エラール・グランド・ピアノ“ベル・エポック”」、「スタインウェイ・ウェルテ・アップライト・ピアノ(自動再演ピアノ)」を収集。

常設展示室にて、これまでに当館が収集・保存した楽器等をテーマ別に選定・展示し、貴重な音楽文化遺産に触れる機会を提供。

●古典ピアノ(チェンバロ、フォルテピアノ等)の展示と演奏

16～19世紀に活躍したチェンバロや著名なフォルテピアノ(モーツァルトやベートーヴェンに所縁の名器を含む)から20世紀のピアノまでを解説と生演奏。

●自動演奏楽器の展示と演奏

19～20世紀初頭、欧米で活躍した自動演奏ピアノやオルゴール（ミュージック・ボックス）、自動パイプオルガン等の解説と演奏。

●民族楽器の展示

世界の民族楽器（代表約100点）を分類展示。演奏法や概説はパソコンにて検索・閲覧。

■企画展示の開催

●「錦絵・双六に見る幕末～昭和の音楽風景」

期 間：2005年3月2日（水）～4月24日（日）〔46日間〕

入場者数：20,814名

幕末から明治20年代までで、日本における伝統音楽の時代から西洋音楽移入期までの音楽や楽器に関する風景を描いた錦絵と、明治～昭和初期に制作された時代を写した絵双六を主として展示し、童謡かるたと音楽紙芝居も展示。



錦絵・双六に見る幕末～昭和の音楽風景

●「民衆の讃歌：大道芸～パフォーミング・アーツ」

期 間：2005年4月28日（木）～7月10日（日）〔65日間〕

入場者数：48,906名

庶民の生活のなかから生まれ、育てられてきた芸能である大道芸に焦点をあて、歌舞伎や能楽といった洗練された舞台芸術、生活のなかに根付いた伝統邦楽に発展・定着した歴史的推移を古い文献や錦絵、実物資料を通して展示するとともに、チンドンなど一部実演を行った。



民衆の讃歌：大道芸～パフォーミング・アーツ

●「夏休み 子どものための楽器展」

期 間：2005年7月14日（木）～9月11日（日）〔52日間〕

入場者数：10,724名

世界各地の民族楽器等を音楽文化圏別に、気鳴楽器、弦鳴楽器、膜鳴楽器、体鳴楽器に分類し、それぞれのルーツ、伝播状況と関連を子どもたちに判りやすく図示しながら、実際に音を出して楽しむ展示を行った。



夏休み 子どものための楽器展

●「ルーマニアの至宝

『ジョルジェ・エネスク没後50周年記念展』

期 間：2005年9月16日（金）～12月23日（祝）〔85日間〕

入場者数：26,857名

ルーマニアが生んだ世界的な大音楽家、ジョルジェ・エネスクの没後50周年を記念し、駐日ルーマニア大使館と共催で開催。作曲家、ヴァイオリニスト、ピアニスト、指揮者、教育者、画家としての多彩な才能に光をあて、エネスクの生涯を展示、紹介した。



ジョルジェ・エネスク没後50周年記念展

●「世界の婚礼音楽と花嫁衣裳展」

期 間：2006年1月1日（祝）～2月26日（日）〔48日間〕

入場者数：17,961名

婚礼に関わる音楽作品は、その分布の広域性や歴史と伝統の上からも全容を把握することは容易ではない。今回の展示では、世界中で歌われたり、演奏されたりする、婚礼時や結婚に関わる音楽作品の中から一部を抽出し簡易な形で表記した。また花嫁衣裳もアジアを中心にしたもので構成・展示した。



世界の婚礼音楽と花嫁衣裳展

■文化講演会の開催

●「民衆の讃歌：大道芸～パフォーミング・アーツ」

講 師：倉田喜弘（芸能史家）

実 演：根岸禮（根岸流二代目家元）他

日時・会場：2005年6月19日（日）

民音音楽博物館ミュージアムホール

古くは万葉集の時代からあった大道芸が今日の能・狂言、歌舞伎、寄席芸、伝統邦楽にまで継承・発展してきた歴史などを実演を交えながら講演を行った。



大道芸～パフォーミング・アーツ

●「シルクロード音楽の再発見」

第1回「日本文化の源流をたずねて」

講 師：藤田敏雄（演出家）

演 奏：シャオ・ロン（琵琶）

日時・会場：2005年8月6日（土）

民音音楽博物館ミュージアムホール

第2回「精神のシルクロードをめざして」

講 師：藤田敏雄（演出家）

舞 踊：ウリヤティ

日時・会場：2005年9月24日（土）

民音音楽博物館ミュージアムホール

第3～5回「シルクロード音楽の再発見・総集編」

講 師：藤田敏雄（演出家）

日時・会場：2005年12月5日（月） 中国新聞ホール

2005年12月6日（火） 松山市総合コミュニティセンター

2005年12月10日（土） エル・パーク仙台セミナーホール



シルクロード音楽の再発見

過去に民音が派遣した「シルクロード音楽調査団」が取材・収集した貴重な資料をもとに、シルクロード諸国・諸民族の音楽文化の交流とその影響を解説・講演した。

●「ジョルジュ・エネスク展記念トーク・コンサート」

講演「ルーマニア文化の魅力を語る」

講 師：駐日ルーマニア大使館ベトレ・ストヤン参事官

演 奏：ホンティラ・クラウディウ（ヴァイオリン）

竹内祥子（ピアノ）

演奏曲目：ルーマニア民謡「カブリッチオ」

ボルムベスク「望郷のパラード」
 ディニーク「ホラ・スタッカート」
 バルトーク「ルーマニア民俗舞曲 SZ. 68」
 エネスク「バラード」
 エネスク（クラウディオ編曲）
 「リメンバー・エネスク」

ピアソラ「カフェ 1930」
 サラサーテ「チゴイネルワイゼン」

日時・会場：2005年11月18日（金）

民音音楽博物館古典ピアノ室

エネスクが追究し、顕現したルーマニアの文化の魅力を掘り下げる講演とともに、上記の演奏会を開催した。

●「ジョルジュ・エネスク展記念藤原亜美 ピアノ・コンサート」

演奏：藤原亜美（ピアノ）

演奏曲目：エネスク作品

「ヴァイオリンとピアノのためのバラード」
 （藤原亜美編曲）

「ピアノのための組曲作品 10 より『トッカータ』『パヴァーヌ』」

「ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロのための『Aubade』」（藤原亜美編曲）

「ヴァイオリンとピアノのための『Andantino malinconico』」（藤原亜美編曲）

歌曲「私は去り森は残る」（藤原亜美編曲）

「ピアノソナタ第1番作品 24-1 より『第3楽章』」

「ルーマニア狂詩曲第1番作品 11」（エネスク編曲）

日時・会場：2005年12月22日（木） 民音音楽博物館古典ピアノ室

エネスクの音楽世界を理解し、楽しんでもらうために、上記エネスク作品のみのピアノ演奏会を開催した。



ジョルジュ・エネスク展記念
 トーク・コンサート



ジョルジュ・エネスク展記念
 藤原亜美ピアノ・コンサート

■音楽ライブラリー事業の推進

開館日数 150 日間、11,159 名の利用者に、音楽図書、楽譜、録音・映像資料等の閲覧・視聴・貸出を行った。

■教育支援事業の推進

- ①音楽図書館協議会、日本図書館協会、日本博物館協会、国際博物館会議、国際音楽資料情報協会、国際図書館協会連盟、学術情報センター等との相互協力活動を行った。
- ②宮城学院女子大学学芸員資格課程履修生見学研修（11名）、昭和音楽大学大学院生見学研修（18名）、学芸員実務研修（昭和音楽大学生1名、川村女子大学生1名）に協力・支援を行った。
- ③小学校1校、中学校10校、高校3校、計14校315名の総合学習および修学旅行見学研修等の支援活動を行った。
- ④国内・地域における住民、学童への芸術・文化的教育支援活動として、「子どものための手作り楽器音楽体験学習」を3月27日と8月21日に開催したほか、障害者等福祉施設利用者への支援を行った。

■ 出版活動

次の出版物を刊行した。

- ① 藤田敏雄著「シルクロード音楽の旅」(B5判 291p 定価: 2500円)
- ② 企画展・展示案内
- ③ 「民音音楽博物館だより」2005年秋号と2006年冬号
- ④ 「民音音楽博物館・館報」第2号



藤田敏雄著「シルクロード音楽の旅」

今後の事業予定

■ 音楽資料の収集・保存

楽器、音楽図書、楽譜、録音・映像資料の収集、保存ならびに活用。

■ 常設展示の開催

古典ピアノ(チェンバロ、フォルテピアノ等)の展示と演奏。

自動演奏楽器の展示と演奏。

民族楽器の展示。

■ 企画展示の開催

● 「三国志の英雄たち～京劇の舞台衣裳と音楽資料展～」

開催期間: 2006年3月3日(金)～5月14日(日)

中国オペラ=京劇の魅力を中国京劇院所蔵の「三国志」の舞台衣裳や楽器等の資料を通して紹介する予定。

● 「没後30周年記念 日本オペラの曙～藤原義江展」(仮題)

開催期間: 2006年5月18日(木)～7月9日(日)

“我等がテナー” 藤原義江の没後30年にあたり、華々しい活躍と波瀾に富んだ人生を、写真や公演プログラム等の資料で紹介する予定。

● 「夏休み 子どものための楽器展」

開催期間: 2006年7月14日(金)～9月10日(日)

世界各地の民族楽器等を分類展示し、子どもたちとともに親子で楽しんでいただく予定。

● 「生誕250周年記念 モーツァルト展」(仮題)

開催期間: 2006年9月15日(金)～12月23日(祝)

生誕250周年を記念し、モーツァルトの人生とその音楽の世界を日頃目にする事の少ない資料も展示しながら紹介する予定。

● 「竹久夢二と大正ロマン展」(仮題)

開催期間: 2007年1月1日(祝)～4月1日(日)

夢二が描いた当館所蔵のセノオ楽譜の表紙絵を中心に、大正ロマンの世界を紹介する予定。

●「伊澤修二と日本音楽教育の曙展」(仮題)

開催期間：2007年4月5日(木)～7月8日(日)

小学唱歌の選定等で知られる伊澤修二の事績を通して、日本における音楽教育、特に西洋音楽の導入について紹介する予定。

●「夏休み 子どものための楽器展」

開催期間：2007年7月12日(木)～9月9日(日)

世界各地の民族楽器等を分類展示し、子どもたちとともに親子で楽しんでいただく予定。

●「没後 180 年記念 ベートーヴェン 第九展」(仮題)

開催期間：2007年9月14日(金)～12月23日(祝)

没後 180 年を記念して、ベートーヴェンが追求し、高らかに謳い上げた理想の世界像を、人類の最高傑作のひとつといわれる「交響曲第 9 番」を中心にして、紹介する予定。

■文化講演会の開催

●「京劇の世界を語る」

講 師：呉江(中国京劇院院長)

実 演：石山雄太(中国京劇院団員)

日時・会場：2006年3月3日(金) 民音音楽博物館ミュージアムホール

2006年3月4日(土) リーガグランドホテルエンパイアルーム

京劇の三つの特徴をめぐって、パフォーマンスを交えながら、京劇の世界を講演する予定。

●「イェルク・デームス コンサート」(仮題)

演 奏：イェルク・デームス(チェンバロとフォルテピアノ)

原田陽(ヴァイオリン)

演奏曲目：フレスコバルディ「チェンバロのためのバレット」

(予定) コレルリ「ヴァイオリンとチェンバロのためのソナタ 第2番 変ロ長調 より『グラヴェ』」

J.S. バッハ「ヴァイオリンとチェンバロのためのソナタ 第3番 ホ長調 BWV1016 より アダージョ」

モーツァルト「ヴァイオリンとピアノのためのソナタ ト長調 K.301 (E.293a) ハ長調」

フランク「前奏曲とフーガと変奏曲 ロ短調」

ドビュッシー「ベルガマスク組曲 より 月の光」

他

日時・会場：2006年3月20日(月) 民音音楽博物館古典ピアノ室

当館所蔵の「ピサ・チェンバロ」「ポローニャ・チェンバロ」「アントン・ワルター」「シュトローム」「エラール」を使用して、上記作品を演奏予定。

●「没後 30 周年記念 日本オペラの曙～藤原義江」(仮題)

日時・会場：2006年初夏・会場未定

●「生誕 250 年記念 モーツァルトの世界」(仮題)

日時・会場：2006年秋・会場未定

■音楽ライブラリー事業の推進

音楽図書、楽譜、録音・映像資料の収集、保存、整理と活用。

■教育支援活動の推進

「子どものための音楽体験学習」等の開催。

■出版活動

- ①「民音音楽博物館だより」2006年春号・夏号・秋号の発行。
- ②企画展・展示案内の発行。
- ③「民音音楽博物館・館報」第3号の発行。

所蔵資料

■所蔵資料概数 (2005年12月末現在)

録音・映像資料	120,000点	その他の資料	
楽譜	45,000点	自動演奏ピアノ(等) / ロール	1,132巻
図書	30,500冊	オーケストリオン / ロール	114巻
民族楽器	620点	ミュージック・ボックス / ディスク	205枚
古典ピアノ・自動演奏楽器等	54点	美術品・写真ほか音楽関連資料	110,000点

来館者数

■展示フロア (2005年12月末現在)

2005年度(1月1日～12月25日・308日間)	126,947名
※1997年9月展示フロア・オープンからの累計は	981,482名

■音楽ライブラリー (2005年12月末現在)

2005年度(1月8日～12月24日・150日間)	11,159名
※1974年11月のライブラリー・オープンからの累計は	361,192名
※2005年12月末現在の個人登録者数は	46,298名、登録団体数は
	4,850団体

民音音楽博物館館報 第2号

発行日：2006年3月16日

編集：財団法人民主音楽協会 民音音楽博物館

〒160-8588 東京都新宿区信濃町8番地

Tel 03-5362-3555 Fax 03-5362-3556

Homepage <http://museum.min-on.or.jp/>

E-mail m-lib@min-on.or.jp

